

群馬県立盲学校 学校評価一覧表（令和7年度版）

（様式）

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況の分析	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				
Ⅰ 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていきますか。	①「学校の様子がよく分かる」と保護者の80%以上が答えている。	教頭	○様々な機会を捉えて保護者と情報共有を図る。 ○学校だより、ホームページ、クラス通信、一斉メール等を通じて、学校の教育活動について積極的に情報発信する。					
		②地域や関係機関等に学校の様子を伝える活動を、年10回以上実施している。	教務主任	○幼児児童生徒の個人情報の取り扱いに留意しながら、本校の様子や教育活動について地域や関係機関等に伝えられるようにする。また、ホームページも活用し、効果的な発信をする。					
		③県内の自治体や視覚障害関係機関（視覚障害福祉センターや点字図書館等）と連携を密にし、啓発活動を行っていると感じる職員が80%以上いる。	センター・啓発	○ホームページやメールなどを活用し情報を発信する。 ○まゆだまネットなどの場を利用し、関係機関と連携を密にする。					
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	④PTA総会、役員会、各学会、まゆコース作りなどPTA行事に参加し、内容に満足している保護者が80%以上いる。	渉外部	○役員同士が協力し合えるよう、また、保護者が参加しやすいような活動を企画する。 ○保護者同士が情報を共有し、学部内や学部を越えた繋がりがもてるような活動を企画する。					
センター・交流			○学校間交流や居住地校交流の推進・実施を図り、事前の情報交換を十分に行う。 ○感染症への対策をしながら、地域の関係機関と情報交換・連携し、交流を推進する。						
Ⅱ 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 視覚障害や視覚認知発達に課題のある幼児児童生徒等の教育について、助言援助に努めていますか。	⑥地域の視覚障害支援センターとして教育相談やキャリア支援などを実施し、関係機関との情報共有をして連携・協力体制を取れているケースが80%以上ある。	センター 目の相談	○来校相談後の報告など、相談者の関係機関との情報共有を行うことで、支援・協力体制を強化する。 ○相談者や関係機関に対して、活用しやすい情報提供を行う。					
		⑦地域支援・啓発活動として、学校見学の受け入れ、研修会の実施、講師派遣等の要望に80%以上応じている。	センター・啓発	○資料の送付による情報提供や、本校職員を講師として派遣するなど、視覚障害者についての理解を深めるための活動や学習を進める。					
Ⅲ 幼児児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑧幼児児童生徒一人一人の課題解決に向け取り組んでいると思う職員が80%以上いる。	生徒指導部 部主事	○アンケートや面談を行い、得られた情報を分析し、課題の早期発見に繋げる。					
		⑨幼児児童生徒のいじめ対策への取組が、保護者の80%以上に認められている。	生徒指導部	○いじめの早期発見に向け、各学期に1回のアンケート調査を実施する。 ○PTA総会において保護者に対し、本校のいじめ対策への取組についての説明をし、その内容の共有を図る。					
	5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	⑩個々のニーズに応じた教材や指導の工夫に努めていると思う保護者・職員が80%以上いる。	教科研究グループ	○幅広い実態の幼児児童生徒へ対応するためにICT活用を含めた効果的な指導方法を各教科・学部で情報共有しながら指導方法の改善を図る。「指導の工夫事例」を一人一事例作成する。 ○群馬大学等外部専門機関と連携し、ケース検討会を実施することで、幼児児童生徒への指導力の向上に繋げる。個別面談やケース会議等を通して保護者への情報共有を図る。					

群馬県立盲学校 学校評価一覧表（令和7年度版）

（様式）

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況の分析	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				
IV 視覚障害教育の専門性がある特別支援学校を目指す取り組みが行われていますか。	6 専門性の継承と深化に向けた研修や発信するための取組が行われていますか。	⑩専門性・指導力を高めるための研修を組織的・計画的に年3回以上実施している。	研修部・自立活動研究グループ	○幼児児童生徒の実態、指導面での課題に合わせて、点字、歩行、弱視教育、重複障害教育、ICT活用に関する校内研修やワークショップを実施する。					
	7 専門性を高めるために、校務分掌や委員会などが組織体として機能していますか。	⑪ケース会議、授業研究、各学部及び寄宿舎における研修が、視覚障害研究・研修部が持つ専門性と連動して行われ、効果を上げていると感じる職員が80%以上いる。	教頭 研修部・自立活動研究グループ	○視覚障害研究・研修部の専門性を各学部及び寄宿舎における実際の指導・支援に生かせるように、積み上げた実践例や教材教具の継承を含め、情報共有を効果的に行う。					
		⑫学校評価による改善の取組が校務分掌と連携して進められていると感じる職員が80%以上いる。	教頭	○学校評価アンケート等の結果を各分掌で分析し、具体的な対応策を検討し、学校教育の改善に繋げる。					
8 障害に配慮した教育環境の整備が行われていますか。	⑬幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた教育計画を立てる上で、校内教育支援委員会や教育課程委員会が機能していると感じる職員が80%以上いる。	⑭幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた教育計画を立てる上で、校内教育支援委員会や教育課程委員会が機能していると感じる職員が80%以上いる。	教育支援委員会	○校内教育支援委員会や教育課程委員会で、学部を越えて全体的・長期的な視点で課題を共有し、指導・支援の適切な方向性を見出す。また、必要に応じて臨時委員会を開催する。					
		⑮視覚障害などに配慮して校内の施設・設備の整備が行われていると感じる保護者・職員が80%以上いる。	管理部 事務部	○危険な箇所や修繕してほしい場所を保護者アンケートや児童生徒アンケートで情報を集める。 ○保護クッションや点字ブロック・手すりなどの設備の点検を行い、必要に応じて、修繕をする。					
V 健康や安全の確保に努めていますか。	9 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑯幼児児童生徒の健康状態や安全への対応が適切に行われていると感じる保護者・職員が80%以上いる。	健康指導部	○状況に応じて必要な感染症対策、熱中症対策を講じる。 ○健康診断事後指導を徹底する。 ○学部・保護者・寄宿舎と連携して健康状態を把握し、適切に対応する。 ○保護者・指導医・看護師・学校間の連絡、連携を密にし、医療的ケアを適切に行う。 ○学校給食を通して、食事の大切さや望ましい食習慣を身に付けさせ、健康教育を推進する。					
	10 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑰緊急時の対応や施設・設備の安全に備えた訓練や点検が行われていると感じる職員が80%以上いる。	管理部 寄宿舎	○大地震や停電の場合など様々な場面を設定して避難訓練を実施する。 ○備蓄品のデータ管理を随時行う。 ○毎月の安全点検を行う。 ○職員の防災の知識向上を図る。					
VI 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	11 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑱キャリア教育の視点に立って将来を見据えた系統的な指導が行われていると感じる職員が80%以上いる。	進路指導部	○「キャリア教育全体計画」を教員、保護者に周知して共通理解を図る。 ○キャリア教育の視点に立った具体的な指導・支援を授業に反映する。					
		⑲あんま・マッサージ・指圧師、はり師、きゆう師国家試験に全員合格する。R7から実施する定期試験を原則四者択一問題化の成果と課題を確認し、生徒が学習効果を発揮しやすい方法を模索する。	専攻科	○早期から本試に対応できる環境を作る。記述から選択に解答方法が変わっても考えて解くことと復習の大切さを指導し、視覚障害の負担軽減と実力養成を両立できるようにする。					
	12 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	⑳発達段階や実態に応じて、一人一人の将来へ向けての指導(あいさつや清掃等の指導も含む)が行われていると感じる保護者・職員が80%以上いる。	進路指導部	○発達段階や実態に応じた進路行事を検討する。 ○各関係機関との連携を深め、一人一人の実態に合った進路指導を実現する。 ○「進路だより」等で進路情報の提供を積極的に行う。					
VII 将来の自立に結びつく寄宿舎指導を行っていますか。	13 身近自立・社会自立に向けての指導を個に応じて行っていますか。	㉑身近自立や社会自立に向けた指導が、一人一人に応じて適切に行われていると感じる保護者・職員が80%以上いる。	寄宿舎 自立研修グループ	○児童生徒の実態を適切に把握し、一人一人に合った生活自立、余暇の充実に向け、生活体験や社会体験を実施する。 ○ホームページへの掲載や寄宿舎便り等を通じて、寄宿舎生活における具体的な取組状況を発信する。					